



市議会から

こんにちは



◆野岩鉄道株式会社(湯西川温泉駅付近)

野岩鉄道会津鬼怒川線は、日光市の新藤原駅と福島県の会津高原尾瀬口駅を結ぶ30.7kmの第三セクター方式の鉄道です。この「野岩」の由来は、所有路線の両端、栃木県の旧国名「下野国」の「野」と福島県会津地方を含む範囲の旧国名「岩代国」の「岩」から来ています。

(特別天然記念物
コウシンソウ)

野岩鉄道は国鉄野岩線として、会津線会津滝ノ原(現在の会津高原尾瀬口駅)から日光線今市を結ぶ路線として建設されていましたが、途中工事が中断されました。その後、栃木県と福島県及び沿線の民間企業が出資し第三セクター方式で工事が再開され、1986年(昭和61年)に開業されました。現在、日光市でも経営安定のため支援を行っております。

沿線には湯西川温泉、川治温泉などがあり、温泉を目的に訪れる人も多く、また、会津高原は尾瀬への玄関口となっていることから毎年たくさんの観光客に利用されています。

NO. 9

平成20年
7月25日 発行

正副議長あいさつ



議長
加藤 雄次



副議長
加藤 優

このたび、全会一致によるご推挙をいただき、二代目の議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり責務の重さを改めて痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、日光市政をとりまく情勢は大変厳しいものがあります。目前に迫った超高齢社会への対応はもとより、地域経済の活性化などさまざまな問題が山積みされております。

市議会といたしましては、市民の目線に沿った開かれた議会を目指し、議会が今何をなすべきか、議員として何が求められているのかなど原点に戻り、皆さまのご期待に応えられるよう全力で取り組んで参る所存であります。

早いもので合併してから2年4カ月の歳月が経過いたしました。これまで先人たちが残してくれた輝かしい歴史・文化、そして豊かな自然を大切に、これらを守りながら市民の皆さまとともに後世に誇れる日光市を築いていく所存でございます。

今後とも市民の皆さまのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

第2回臨時会で審議された議案と結果

平成20年第2回日光市議会臨時会が5月14日に開催され、正副議長の選挙が行われ、議長に加藤雄次議員が、副議長に加藤優議員が選出されました。

また、今臨時会で審議された案件は、執行部提出議案7件、報告1件、選挙2件でした。

選挙	選挙	議案第63号	議案第62号	議案第61号	議案第60号	議案第59号	議案第58号	議案第57号	報告第2号	事件	議決結果
副議長の選挙 (当選人) 加藤 優	議長の選挙 (当選人) 加藤雄次	日光市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて	市長の専決処分事項の承認について 「日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定」	市長の専決処分事項の承認について 「日光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定」	市長の専決処分事項の承認について 「日光市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定」	市長の専決処分事項の承認について 「日光市税条例の一部を改正する条例の制定」	市長の専決処分事項の承認について 「平成19年度(2007年度)日光市老人保健事業特別会計補正予算(第3号)」	市長の専決処分事項の承認について 「平成19年度(2007年度)日光市一般会計補正予算(第6号)」	市長の専決処分事項の報告について 「損害賠償の額の決定及び和解」	市長の専決処分事項の承認について 「平成19年度(2007年度)日光市一般会計補正予算(第6号)」	報告
指名推選	指名推選	原案同意	原案承認	原案承認	原案承認	原案承認	原案承認	原案承認	報告		

委員会構成 5月に開催されました第2回臨時会において、各常任委員、議会運営委員、各特別委員等が選任されました。

常任委員会委員等名簿

(平成20年5月14日現在)

委員会名	委員
総務常任委員会 (定数9名) (欠員1名)	◎星 貞 光
	○落 合 美津子
	塩 生 勇 一
	手 塚 雅 己
	藤 井 豊
	加 藤 優
	野 沢 一 敏
	斎 藤 敏 夫
民生環境常任委員会 (定数7名)	◎生 井 一 郎
	○根 本 和 子
	田 井 哲
	平 木 チサ子
	福 田 悦 子
	齊 藤 正 三
	齋 藤 文 明
観光経済教育常任委員会 (定数7名)	◎田 村 耕 作
	○小久保 光 雄
	三 好 國 章
	大 門 陽 利
	阿 部 博 美
	鷹 觜 孝 委
	高 橋 正 直
建設水道常任委員会 (定数7名)	◎山 越 一 治
	○川 添 芳 廣
	川 田 佳久子
	山 越 梯 一
	佐 藤 和 之
	登 坂 理 平
	中 川 恒 男
議会運営委員会 (定数9名)	◎齊 藤 正 三
	○齋 藤 文 明
	平 木 チサ子
	佐 藤 和 之
	手 塚 雅 己
	田 村 耕 作
	根 本 和 子
	野 沢 一 敏
	生 井 一 郎
	齋 藤 敏 夫
議会選出監査委員	落 合 美津子
議会選出農業委員会委員	鷹 觜 孝 委

◎：委員長 ○：副委員長

特別委員会委員名簿

(平成20年5月14日現在)

委員会名	委員
地域経済活性化対策調査 特別委員会(定数10名)	◎塩 生 勇 一
	○手 塚 雅 己
	平 木 チサ子
	田 村 耕 作
	藤 井 豊
	加 藤 優
	根 本 和 子
	齊 藤 正 三
	生 井 一 郎
	高 橋 正 直
ダム施設周辺地域対策調 査特別委員会 (定数10名) (欠員1名)	◎中 川 恒 男
	○鷹 觜 孝 委
	田 井 哲
	三 好 國 章
	山 越 梯 一
	小久保 光 雄
	登 坂 理 平
	齋 藤 敏 夫
	齋 藤 文 明
日光市可燃ごみ処理施設 調査特別委員会 (定数10名)	◎佐 藤 和 之
	○阿 部 博 美
	星 貞 光
	川 田 佳久子
	大 門 陽 利
	福 田 悦 子
	野 沢 一 敏
	川 添 芳 廣
	落 合 美津子
	山 越 一 治
行政調査特別委員会 (議員全員)	◎山 越 梯 一
	○川 田 佳久子

◎：委員長 ○：副委員長

広報委員会委員名簿

(平成20年5月14日現在)

委員会名	委 員
広報委員会 (定数10名)	◎根本和子
	○阿部博美
	小久保光雄
	福田悦子
	川添芳廣
	星貞光
	生井一郎
	田村耕作
	山越一治
	齊藤正三

◎：委員長 ○：副委員長

会派別議員名簿

(届出順)(平成20年5月14日現在)

会派名	委 員	
日本共産党	○藤井 豊	福田悦子
公明市民クラブ	○落合美津子	小久保光雄
清流	○登坂理平	川田佳久子
	手塚雅己	大門陽利
	齋藤文明	川添芳廣
	鷹觜孝委	平木チサ子
	○中川恒男	田井哲
グループ光輝	三好國章	星貞光
	山越梯一	佐藤和之
	塩生勇一	田村耕作
	根本和子	野沢一敏
	阿部博美	斎藤敏夫
	齊藤正三	山越一治
	生井一郎	高橋正直

無会派

加藤雄次(議長)

加藤 優(副議長)

○：代表

第議 70 号 案	第議 69 号 案	第議 68 号 案	第議 67 号 案	第議 66 号 案	第議 65 号 案	第議 64 号 案	第 報 5 号 告	第 報 4 号 告	第 報 3 号 告	事 件
日光市民プール条例の一部を改正する条例の制定について	日光市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定について	日光市産業振興ビジョン策定委員会設置条例の制定について	日光市産業エネルギービジョン策定委員会設置条例の制定について	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第20条に規定される固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	日光市父子手当条例の制定について	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	平成19年度(2007年度)日光市水道事業会計予算繰越計算書について	平成19年度(2007年度)日光市繰越明許費繰越計算書について	市長の専決処分事項の報告について 「損害賠償の額の決定及び和解」	件名
6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5				月上 日程
観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	民生環境 常任委員会					付託委員会
6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	月議 日決
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案適任	報 告	報 告	報 告	議決結果

6月定例会で審議された議案と結果

平成20年第3回日光市議会定例会が6月5日から6月20日までの16日間の会期で開催されました。今定例会で審議された案件は、執行部提出議案22件、報告3件でした。
なお、一般質問は6月16・17・18日の3日間にわたり、15名の議員が44項目について質問をしました。

・ ・ ・ お知らせ ・ ・ ・

一般質問の内容は、紙面の都合により全てを掲載することができません。日光市公式ホームページ日光市議会情報から、会議録検索システムをご覧ください。会議録検索システムでは一般質問の内容等、本会議での全ての発言及び資料をご覧くださいことができます。是非ご利用ください。

アドレス <http://www.city.nikko.lg.jp/>



議会を傍聴してみませんか

本会議では、市民生活にかかわりの深い、身近な問題について話し合いが行われています。

皆さんが選んだ議員の活動や市政の方針などを実際に見聞する良い機会です。

傍聴手続きは本庁舎4階エレベーター前にある受付で、住所、氏名等を記入するだけです。どなたでも傍聴できますので、是非お出かけください。



第議 85 号 案	第議 84 号 案	第議 83 号 案	第議 82 号 案	第議 81 号 案	第議 80 号 案	第議 79 号 案	第議 78 号 案	第議 77 号 案	第議 76 号 案	第議 75 号 案	第議 74 号 案	第議 73 号 案	第議 72 号 案	第議 71 号 案
「工事請負契約の締結について 〔地域再生基盤強化交付金事業砂畑橋上部工建設工事〕」	「工事請負契約の締結について 〔地域再生事業（鬼怒川地区）（仮称）鬼怒立 岩大吊橋上部工工事〕」	市道路線の認定について「楯岩線」	市道路線の認定について「鬼怒川松原公園線」	財産の取得について 「藤原消防署湯西川分署高規格救急自動車購入事業」	財産の取得について 「藤原・栗山消防団消防ポンプ自動車及び小型 動力ポンプ付積載車購入事業」	財産の取得について 「日光・足尾消防団消防ポンプ自動車及び小型 動力ポンプ付積載車購入事業」	財産の取得について「今市消防団消防ポンプ 自動車購入事業」	財産の取得について 「今市消防署化学消防ポンプ自動車購入事業」	「倉ヶ崎住宅建設事業住宅建替工事2号棟建築工事」	工事請負契約の変更について 「倉ヶ崎住宅建設事業住宅建替工事2号棟建築工事」	日光市都市公園条例の一部を改正する条例の 制定について	日光市自然体験交流センター条例の一部を改 正する条例の制定について	日光市農村地域工業等導入促進審議会条例の 一部を改正する条例の制定について	日光市工場立地条例の一部を改正する条例の 制定について
6. 20	6. 20	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5	6. 5
―	―	建設水道 常任委員会	建設水道 常任委員会	総務 常任委員会	総務 常任委員会	総務 常任委員会	総務 常任委員会	総務 常任委員会	―	総務 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会	観光経済教育 常任委員会
6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 9	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20	6. 20
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決

六月定例会

一般質問



子育て対策について

川田佳久子議員（清流）

日光市総合計画が平成27年度を目標年次として策定された。この基本施策に述べられている少子化対策のうち、家庭教育、幼児教育について、次の4点を質問する。

①家庭教育指導者養成講座修了生の活用について。

②合併前から各地域で活躍するオピニオンリーダー養成講座修了者の数と活動内容、後継者の育成と発掘の方法は。

③幼稚園、保育園、小学校職員研修会の充実を図るための具体的計画はあるのか。

④教育力アップのためには、それに携わる教育職員の身分保障、待遇改善も大切な課題。正規職員、臨時職員の割合、臨時保育士の産前・産後休暇の扱いと待遇改善の検討予定は。

斎藤文夫市長・大橋副市長・教育長・総務部長・教育次長

①県主催の各種研修会修了者は、各地域で独自の活動を展開するほか、家庭教育講演会の企画運営委員などで活躍している。

②前年度末現在49名がボランティア活動を展開している。

IA活動を展開。生涯学習情報誌での活動紹介、スキルアップ、新たな人材の発掘に努めるとともに、市内における家庭教育指導者のネットワークの拡大に向けた支援をする。

③幼稚園、保育園、小学校では互いに職場体験や授業参観を通して教師と保育士の交流を図るなど、それぞれに研修を実施している。



上手に出来たかな（日光保育園）

④臨時保育士の比率は43・6%。各種保険に加入している。無給ではあるが、産前6週間、産後8週間の休暇が取れ、任用期間内であれば復職可能。臨時保育士が安心して専門能力を発揮できるよう、年度内に身分取り扱いの見直しを行い、平成21年度から実施したい。

○その他の質問

地域医療について

福田悦子議員（日本共産党）

①日光市民病院の小児科診療体制が4月から週3日となった。市内の子供たちの命と健康を守るとともに、修学旅行生なども多く受け入れる観光地としても小児科診療体制は非常に重要。今後の市の対応は。また、軽症なのに夜間・休日に受診する「コンビニ受診」の防止と、医師の負担軽減のため、適正受診推進のための受診チェックリスト導入の考えは。

②全国的に産婦人科医師の減少と産科の廃止が問題となっている。安心して出産できる条件の整備は、一番の少子化対策と考



「痛いところはないかな」

える。産婦人科の維持確保に対する今後の対応は。

③栃木県は、死因のうち脳卒中が全国最悪の状況。脳卒中の専門医療機関がない当市として今後どのように対応するのか。

斎藤文夫市長

①診療科目として小児科を持つ医療機関は、市内に14ある。日光市民病院は、二次救急医療指定病院であり、早急に小児科の常勤医師を配置するよう要請を行う。医師の診断や治療が必要な小児患者は、約半数と言われる。受診チェックリストは、医師の負担軽減にも有効な手段。情報を収集し、医師会の指導もいただきながら取り組みを検討する。

②市内での出産は、全体の30%。日光市民病院への助産師による院内助産所開設を働きかけ、当市における周産期医療基盤が今後とも維持・継続できるよう努める。

③脳卒中は、発症後の早期治療が重要。普段の健康管理で予防も可能。当面、消防防災ヘリの活用も含め、搬送体制を充実する。獨協医科大学日光医療センターについても、診療科目の増設について強く要望するとともに、医師確保のための制度の創設や医療機関への支援などにつ

いて庁内検討会議を立ち上げる。（その他の質問）

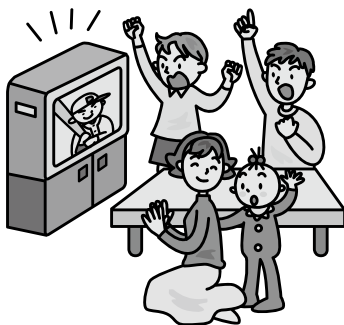
○介護職員の待遇改善

○親しまれる観光地づくり

地上デジタル放送について

大門陽利議員（清流）

地上デジタル放送への関心の高まりにもかかわらず、分かりやすい情報が不足している。市民が知りたいと思う情報に関し、次の5点を質問する。



①難視聴地域が一目で分かる、マップを作る予定はあるか。
②難視聴地域の市民が取るべき対策は。

③1戸当たりの個人負担額は。

④難視聴地域の対策は、平成23年7月までに完了できるのか。

⑤地上デジタルテレビ放送に関

する現状と問題点・解決方法、悪徳業者の対策などの情報を、定期的に、分かりやすく、市民に周知することが重要と考えるが、その方法と時期について。

大橋副市長・企画部長

①受信状況は、障害物の状況により、同一集落でも変わる。ご提案の難視聴地域マップと合わせて、電波状況診断シートによる簡易診断をしていただくことを検討。

②近隣の同じ状況の方々と、共聴アンテナを立てるために自主共聴組合による難視聴対策を検討していただくことが必要。

③チューナーは1万5千円から2万円。一般的に言われる個人負担額3万5千円については、国の支援制度等に不透明な部分が多く、結論が出ていない。

④アナログ放送終了まで約3年となり、難視聴対策を実施する十分な時間が残っているとは言いが、国・県と連携し、地上デジタル放送完全移行に取り組む。

⑤今後とも、広報での定期的な情報提供や、ホームページ掲載情報の充実を図るとともに、必要に応じて説明会を開催する。

（その他の質問）

○ISO14001の取得

○サイレンの無線吹鳴の故障

市施設の災害対策について

小久保光雄議員（公明市民クラブ）

阪神・淡路大震災では、昭和56年以前に建築された現行の耐震基準を満たさない建築物に甚大な被害が発生している。そこで日光市地域防災計画に關し、市施設の耐震対策について質問する。

①児童・生徒の安全、安心の確保と非常災害時の応急避難場所確保の観点から、耐震診断でDランクとなった学校の耐震補強対策を急ぐべきではないか。

②多くの市民が訪れ、有事の際は市の災害対策本部や支部が設置される、本庁舎や各総合支所の耐震補強を急ぐべきではないか。

③災害時の飲料水確保の観点か



飲料水兼用耐震性貯水槽（市役所第4庁舎前）

ら、市役所本庁舎や各総合支所への飲料水兼用耐震性貯水槽の整備計画は。

④市内に多く見られるブロック塀等の倒壊防止対策は。

⑤日光市は木材家屋が多く、火災に弱い都市。耐震性防火水槽の確保状況と今後の整備計画

大橋副市長・教育長・総務部長

①一部計画の前倒しも含め、毎年、二次診断、補強工事を計画的に実施する。

②いずれも建築後約40年から90年が経過している。組織機構改革計画での検討結果に基づいて、庁舎の耐震改修あるいは建て替えなどの計画を進める。

③庁舎の耐震改修や建て替え等の整備計画に合わせて、対応したい。当面、ミネラルウォーターの追加配備をするほか、関係自治体や民間業者との災害時協定の活用についても検討している。

④災害への対処方法を示した「わが家の防災行動マニュアル」を策定中であり、今年度中に全戸配布し、ブロック塀等の倒壊防止対策などの周知を図る。

⑤現在、公設の耐震性防火水槽は208基、耐震性をもたないものが281基市内に設置されている。今後は、更新の際にも

検討する。

（その他の質問）

○高齢者予防医療対策の充実

地球温暖化防止対策について

野沢一敏議員（グループ光輝）

地球温暖化防止対策推進に關し、次の3点について質問する。

①地球温暖化対策計画の策定が今年度中に出来ない市町は、日光市を含め僅か4市町に過ぎない。市長の地球温暖化防止対策推進に対する考え方は。



湯西川小中学校のソーラー発電

②旧市町村の取り組み。特に旧今市市のエコ・オフィスプランの成果と課題。市役所本庁舎の冷暖房の使用が不適切であるという市民の指摘がある。旧今市

市での取組項目のうち、冷暖房の適正使用や、職員の通勤時におけるマイカー利用の自粛など推進すべきではないか。

③今後の取り組み方法に關し、平成20年度から策定作業を開始する環境基本計画上の取扱い、市民及び市内事業所との連携・協力について。

斎藤文夫市長・阿部副市長・市民環境部長

①地球温暖化を最低限に抑えるため、低公害車の導入やエコライフデーの実施など、地球温暖化防止対策の取り組みを進めている。現在、策定作業に着手した環境基本計画に、明確な削減目標を設定しながら、市を挙げて実現可能な対策を打ち出していく。

②旧今市市では、職員の意識改革を進めた結果、燃料や水道水の使用料は減少したものの、消防庁舎の使用開始、OA化の進展による電気使用料の増加により、全体では総排出量が3%の増加となっていました。現在、昼休みの消灯や紙の再利用などに取り組んでいるが、これ以外にも長続きする方策について検討したい。

③地球温暖化防止策は、市環境基本計画の中心として位置づけ

たい。市広報紙への掲載や、ひかりの郷出前講座などで環境情報を提供し、市民の皆さんの理解と協力を得たいと考えている。なお、市役所における率先行動計画は、環境基本計画に合わせ、平成21年度に策定する。

(その他の質問)

○産業基盤整備

公共交通機関との連携・利用促進について

登坂理平議員（清流）

次の3点について伺いたい。

①JR東日本・東武鉄道・関東バス・東武バス等、関係会社側との連携に関し、活性化対策や運行本数の維持改善等への対応は。また、野岩鉄道・わたらせ渓谷鉄道の現況や経営課題等への対応は。

②通勤等での公共交通機関の利用奨励や利用促進キャンペーン等利用促進への取り組みは。

③市営バスの運行と利用実態、一台当たりの赤字額は。また、民間経営路線バスの縮小・廃止とならないための支援策についての見解は。

斎藤文夫市長・阿部副市長・企画部長・市民環境部長

①交通機関等誘客促進協議会における鉄道会社との連携、日光市地域公共交通会議におけるバス会社との協議を行っている。野岩鉄道及びわたらせ渓谷鉄道については、厳しい経営が続いているが、新たな経営健全化計画などを基に、今後も公的支援を行う。



地域住民・観光客に親しまれている「わたらせ渓谷鉄道」

②野岩鉄道・わたらせ渓谷鉄道は観光面での利用が主。他の自治体と連携した広域観光の申請を国に申請中である。バスについては、宇大との共同研究によりアンケートを実施した。今後、地域の交通手段の確保に向け、様々な観点からの検討・協議を行い、生活バス路線運行計画を作成したい。

③市営バス路線は、18路線あり、

合計18台の車両について、1台あたり年間780万円の赤字となっている。民間事業者の運行安定確保については、今年度制定した生活路線バスの補助金交付要綱により、積極的に支援していきたい。

(その他の質問)

○各総合支所の空き室対策

○大谷川右岸道路の沿線開発計画

高齢者差別の医療制度について

藤井豊議員（日本共産党）

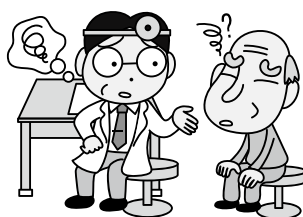
後期高齢者医療制度においては、年金からの天引き制度や治療費に上限をつける定額制が導入され、長生きは罪なのかという怒りの声が上がっている。そこで、次の4点について質問する。

①制度の問い合わせの実態は。市の周知は、万全であったと考えているのか。

②医療費削減のための高齢者差別と障がい者を無理やりこの制度に組み込む差別の実態をどう考えるか。

③年金天引き等保険料の負担増、負担減の実態と今後の低所得者を含めた対応策は。

④高齢者医療制度撤廃の声も上がっている。安心できる医療制度を市民は求めているが、市の考えは。



阿部副市長

①被保険者証の送付、保険料の年金天引き、保険料の額などについて4月において約900件の問い合わせがあった。市広報紙への掲載、チラシの世帯配布や郵送を実施したが、周知不足は否めない。今後も機会を捉えて、周知活動を重ねる。

②重度心身障害者医療費助成に關しては、厚生労働省から運用見直しが必要とされ、県と市町間の再検討が開始されている。

③高齢者一人が子供夫婦と同居している場合には、高齢者自身の収入の違いにより増額となる場合がある。

低所得層の方は、申告をしないと軽減措置が適用されないため、適正申告の促進と、減免制度について分かりやすい周知を図る。

④国民皆保健制度を守ることが最も大切なことである。所得に応じて負担と、世代間での助け合いがこの制度と考える。今後、改善に向けた努力を続けたい。

(その他の質問)

○足尾地域の市有地売却

○安全と安心のかなめの消防体制

○市の非正規職員の雇用

農業行政について

三好國章議員（グループ光輝）

戦場ヶ原農場で花卉栽培に散布されている農薬の種類と年間に散布する量について質問する。



ラムサール条約にも登録されている戦場ヶ原

観光経済部長

戦場ヶ原で花卉栽培事業者が使用している農薬の種類と年間の

散布量については、地元農家への協力依頼と関係機関への照会を行ってきた。この度、栃木県及び埼玉県農政関係事務所への問い合わせにより、合わせて41事業者について、戦場ヶ原で散布している農薬の種類及び散布量についての回答を得た。そこで散布している農薬の種類は、殺菌剤、殺虫剤、殺ダニ剤である。定められた倍率に希釈し、10a当たり100リットルから200リットルを散布している。殺菌剤は4銘柄、殺虫剤2銘柄、殺ダニ剤が1銘柄である。その希釈率は、順に1,500倍、1,000倍、2,000倍となっている。

(その他の質問)

○道路行政

○水道行政

○自然環境の問題

水道事業の企業会計について

佐藤和之議員（グループ光輝）

水道事業会計について、財政の健全化、経営の安定化を図る上でも、また説明責任を果たす上でもキャッシュ・フロー計算書の必要が高まっている。既に導



毎日おいしい水を供給している藤原浄水場

入している福岡市水道公社でも次のような効果が出ている。

①今までに財務諸表では把握できなかった現金保有に関する経営情報が補完できる。

②事業経営を営業活動、投資活動、財務活動の3活動に分類し、各活動ごとに現金の増減に関する情報を提供できる。

③資金獲得能力、債務支払能力など、資金に関して企業を評価する情報を提供できる。

④充実した財務情報を積極的に公表し、市民サービスの向上を図る。

経営の状況、資金の獲得や支払いに関する情報を的確に表すキャッシュ・フロー計算書を導入する予定は。

阿部副市長

キャッシュ・フロー計算書は、経営内容を現金変動の視点から捉えられるという点で、有効な財務表と考えられるので、平成20年度からの導入を考えている。決算上での収支状況を広報紙やホームページ上でさらに詳しく公開し、料金収入の確保や事業の計画的実施により、水道利用者のサービス向上や経営の効率化を図り、平成23年度からの料金統一に備えたい。

(その他の質問)

○世界文化遺産地域の環境整備

○フィルムコミッション

機構改革の取り組みについて

高橋正直議員（グループ光輝）

機構改革により、藤原総合支所の一部の課が廃止されるなど、関係者は不安を感じている。そこで、次の2点について質問する。

①観光地である藤原地域は、観光課は別格としても、税務、下水道、消防は重要な部署。公共下水道へのホテルの接続も遅れているなど、まだまだ、課題が多い中、総合支所の体制が弱体化してきていると思うが、執行

部の考えは。

②過日の新聞で、日光・今市・足尾の観光協会の合併方針が報道された。この合併に反対するものではないが、5地域の観光協会が同じレベルでやろうとしてもできない。日光市としての誘客を考えたとき、今後の観光行政の推進体制を執行部はどう考えるか。



鬼怒川・川治温泉観光協会

大橋副市長

思い切った行財政改革を進めるには、職員数の削減は避けて通ることが出来ない。本庁は市全体を見通した立場で各種施策を展開し、総合支所は市民サービスに直結した窓口・受付や相談業務、施設の維持管理を主に担当するなど、役割分担を明確化しなければならない。地域の特

性をはぐくみながら市民サービスを維持向上させるためには、例えば、当市の基幹産業と位置づけられる観光行政を担う組織を強化するなど、地域特性に十分配慮した行政組織を構築する必要がある。ただし、職員数の削減には、おのずと限度がある。今年の秋頃を目標に、組織機構改革計画の検討を進める。

②一昨年、日光地区観光協会連合会が設置され、共通パンフレット作成や誘客キャンペーンを実施し、連携の環境が整いつつある。今後も、五つの地域がそれぞれの特色を生かして独自の事業を展開するとともに、新市としての一体的な事業推進を進めることが、各地域の均衡发展と、市全体の発展につながると確信する。

(その他の質問)

○日光市民の高齢者対策

世界遺産地域内のトイレの整備について

手塚雅己議員(清流)

①日光山内地区でのトイレ不足について認識されているのか。
②トイレ不足にはどのような対策が有効と考えているのか。

③市として、山内地区にトイレを設置する考えはあるのか。3点について質問する。

観光経済部長

世界遺産登録区域内には11カ所のトイレがあり内2カ所が、閉鎖されている。今後、二社一寺・地元自治会・関係機関等と連携し、閉鎖中のトイレを改修することも含め、協議・検討したい。この区域内のトイレの利用頻度が高いことは認識しているが、店舗などに対するトイレ改修の直接補助は難しい。区域内の店舗等のトイレの活用については、地域の皆さんのご協力をお願いしたい。

具体的には、社寺共同事務所が管理している現在閉鎖中の東照宮宝物館前のトイレと、東照宮の管



西参道公衆トイレ

道路行政について

塩生勇一議員(グループ光輝)

国道は県の所管だが、市が市民の声の代弁者となることを期待して、4点について質問する。

①横川から上三依までの雪寒対策事業については、用地等の問題で遅れているとも聞くが、事故も多く、苦情が多く寄せられている。今後の事業計画は。

②中三依〜五十里湖間については、10年来、県に整備要望を出しているが、地元の声が届かない。年間100件近い交通事故が起こる危険な国道についての県の整備方針は。

③日塩道路入口から中三依までの国道に、降雨が200ミリ以上になった場合通行止めにする

理する武徳殿後ろのトイレ改修に向け、それぞれの管理者並びに関係機関と協議・検討していく。
(その他の質問)

○指定管理委託・業務委託に伴う市民サービスの品質確保

○小児医療体制

○感染症のパンデミック(大流行)対策

○観光戦略におけるイメージ作り

旨の標識がある。通行者の不安を考えると、早急な整備による解除こそ必要ではないか。

④藤原・竜王峡間は、歩道が整備されていない。観光客の利便と通学の安全確保に歩道は不可欠。地域の活性化にもつながる



事故の多い三依地区の県道

斎藤文夫市長・建設部長

①国道雪寒対策事業は、平成15年度から県が事業主体となって実施し、進捗率36%。冬期間の市民生活の安全確保と車両の事故防止のため、早期完成を県に要望する。

②危険な道路状況であることは、三依中学校区のまちづくり懇談会でも出された。引き続き早期事業化を県に要望する。

③ご指摘の道路標識は、異常降

雨時に交通の安全を図るため、県が平成13年度に設置した。しかし、市民や観光客の不安を払拭するためにも、引き続き要望していく。

④自然を味わいながら散策する観光客の安全を確保する上でも、また、地域振興策の一つとしても歩道整備は必要であると考えている。3月に要望を実施し、今後も、引き続き早期の歩道整備を要望する。

(その他の質問)

○若者対策

○女性防火クラブ

市民の安全・安心対策について

落合美津子議員(公明市民クラブ)

次の2点について質問する。

①ひとり暮らしのお年寄りを主な対象に緊急通報体制整備事業が展開されている。旧今市市での事業開始から17年。県内他市では特養ホームや市民病院を受信センターとして経費を抑えている。システムの見直しとともに、より幅広いニーズへの対応と増加する委託経費の削減が図れるのではないか。

②児童の安全対策に関し、総務

省の事業に「地域児童見守りシステムモデル事業」がある。ICタグやGPSを使って児童の安全・安心対策を全国展開しようというもの。この事業を導入した小平市では、保護者から好評で、事業実施後、全市的な取り組みを展開している。日光市での導入の考えは。



子供たちの安全は地域が守ります

斎藤文夫市長・大橋副市長・健康福祉部長・教育次長

①PHSシステムに変更した場合、維持経費は、半額以下になるが、緊急時に情報の双方向伝達機能が劣るという欠点がある。また、受信センターの変更についても、それぞれ市の実情が異なり、同列では考えられない。利用の96%が相談であることから、当面、現行のシステムを継続

する考えである。このシステムにとつて最も大切なことは、緊急時に混乱せず、確実に使えるシステムであること。今後も、機器の機動性や利用者のニーズを総合的に勘案した研究を続ける。

②GPS対応の機器は、子供の居場所が常に分かる反面、市内では利用できる範囲が限定される。市内では、各種団体による地域をあげての見守り活動など安全・安心の確保に努めていただいている。しかし、技術は日進月歩。機械での見守りと地域の見守りのバランスを取りながら、対策の推進を図る。

(その他の質問)

○少子化対策

○環境対策

児童の安全について

平木チサ子議員(清流)

児童の安全に関し、次の3点について質問する。

①かねてから指摘している学童保育の狭隘化対策としては、施設を拡充する、もしくは放課後こども教室など他の受け皿を作る方法の2つがある。市は、具体的にどのような方策をとるの

大橋副市長・教育次長

①学童保育は、全児童の三分の一が利用し、特に大規模校では、狭隘化の解消が大きな課題となっている。このため、今年度予算で、今市第二小学校、大室小学校及び大沢小学校の各校区において、施設の改修や新設を行



大沢児童クラブ

か。また、受け皿となる団体や場所の提供について、広報などで市民に呼びかけてはどうか。
②多くの子供が利用する学童保育。入学式で先生や交通指導員とともに学童保育の指導員もきちんと紹介すべきではないか。
③小学校の運動会が残暑の厳しい9月に行われるようになり、体調を崩して倒れる子供もいる。何らかの日よけ対策が必要ではないか。

う。また、大沢公民館に放課後こども教室を開設する。新たな施設や受け皿としての団体の確保については、ご提案のように、市広報を通して情報収集を行う。

②放課後児童クラブは通常の授業が行われる日の放課後とはもとより、夏休みなどの長期休業中は一日中過ごすなど、児童と関係の深いところ。今後、学童保育の指導員についても、入学式などで紹介するよう、学校に働きかける。

③市内小学校の運動会は、9割以上が9月に行われている。しかし、日光市の平均気温も上がっており、練習時からの水分補給と帽子の着用を徹底するなど子供たちの健康状態に十分配慮する。

(その他の質問)

○高齢者・障がい者の移動支援

○自殺予防対策

都市計画策定の基本的考え方について

阿部博美議員(グループ光輝)

合併後2年余が経過するにもかかわらず、新たな都市計画が示されていない。そこで、次の2

点について質問する。

①現時点における、用途地域設定に当たっての考え方。また、見直しの考えはあるのか。都市計画も面対策から質の時代に入った。様々な資源を生かし、観光客が訪れたいというような計画、日光市ならではの計画策定の考えは。

②昭和に計画決定された道路が未着工というところもある。道路や下水道など、これまでに決定されている事業の整備状況は。今後どうしていくかと考えているのか。また、下水道事業と都市計画税の課税区域が一致しないところがあるが、横の連携が不足しているのではないか。



整備された都市計画道路千本木小倉町線

斎藤文夫市長・建設部長・上下水道部長

①用途地域は、今市、日光及び藤原の3つあり、いずれも旧市町の中心市街地及びその周辺地域を主なエリアとして設定されている。現在、都市計画マスタープランの策定中であり、土地利用の実態が現在の用途にそぐわないような箇所については、策定委員会の中で一定の方向性が出されると思う。計画策定に当たっては、コンパクトな街づくり、美しい景観の保全に重点を置きたい。

②都市計画道路については、51路線のうち30路線が完了。8路線が未着手。計画決定から30年以上が経過した路線については、市民のコンセンサスを得ながら見直しを行う。区画整理事業については、9地区を計画決定、1地区が未施工。下水道事業については、認可区域2,652ha、整備率は76・8%で、平成47年度までに完了したい。なお、都市計画税については、時間はかかるが、本来の適正な姿に戻していきたい。

(その他の質問)

○ごみの不法投棄対策

教えて！議会のハテナ??

ここでは、議会で使用される用語等を分かりやすく解説していきます。

今回は「定例会・臨時会」について説明します。

定例的に開催される議会の会議のことを「定例会」といいます。地方自治法では、条例で回数を定め開催することとなっています。日光市議会では条例で回数を年4回と定め、定例会規則に基づき、毎年2月、6月、9月、12月に開催されます。定例会では、本会議での議案の上程、議決はもちろんのこと、市長の所信表明（2月のみ）や議員の一般質問が行われます。

定例会以外に必要な場合に随時招集され、特定の案件を審議する議会を「臨時会」といいます。日光市議会では、これまで2回の臨時会を開催しました。



議会ライブ放映

議会本会議のライブ映像を市役所本庁舎2階市民ホール及び各総合支所で放映しています。

次回の定例会は9月2日から開催される予定ですので、是非ご覧ください。



平成 20 年 9 月 日光市議会定例会会期日程予定

【会期 9月2日（火）～9月26日（金）25日間】

月／日	曜 日	会 期 日 程	備 考
9/ 2	火	本会議	（開会）上程・説明
4	木	本会議	委員会付託
8	月	付託委員会	
9	火	付託委員会	
11	木	本会議	採決・一般質問予備日
12	金	本会議	一般質問
16	火	本会議	一般質問
18	木	決算審査特別委員会	
19	金	決算審査特別委員会	
22	月	決算審査特別委員会	
26	金	決算審査特別委員会・本会議	（閉会）

※ この日程はあくまでも予定であり、日程が変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。

お聞かせください

広報委員会では、「市議会からこんにちは」へのご意見等を募集しています。
ご意見・ご感想は電話、ファックスまたはメールにて、議会事務局までお願いいたします。

TEL 0288-21-5140

FAX 0288-21-5141

メール gijika@city.nikko.lg.jp



**請願・陳情は住民の
声。どなたでも提出
できます！**

○請願には紹介議員が1名以上必要ですが、陳情は必要ありません。

○提出は、できるだけ郵送は避け、議会事務局（本庁舎4階）へ直接ご持参ください。

○定例会ごとに締切日がありますので、詳細については議会事務局にお問い合わせ下さい。

《問合せ先：議会事務局》

（陳情・請願記載例）

平成 年 月 日	
日光市議会議長○○○様	
住所	（陳情）氏名
（陳情）氏名	連絡先 TEL
紹介議員氏名	（陳情の場合は不要）
_____ に関する（を求める） 請願（陳情）	
1. 要旨	

2. 理由	

【編集後記】

5月に広報委員のメンバーが変わりました。

気分一新、市民の皆さまに親しんでいただける紙面づくりのために、今回、議会開催中に本庁や各総合支所窓口でアンケート調査を実施しました。アンケートにご協力いただいたみなさまのご意見を参考にし、今後の議会活動並びに議会広報紙の発行に役立てていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

さて、合併から早いもので、2年4カ月が過ぎました。

全国第3位の広大な面積を有する日光市ですから、地元の方以外には知られていない素晴らしい文化や自然環境が数多くあります。これらを市民の皆さまにお知らせすることも議員活動において重要なことだと思います。

ところで、表紙の写真について、すでにお気づきの方も多いと思いますが「日光市の鉄道シリーズ」です。

日光市には、JR日光線、東武日光線、東武鬼怒川線、第3セクターの野岩鉄道会津鬼怒川線、そして同じくわたらせ渓谷鐵道があり、市民や観光客の移動手段として重要な役割を担っています。

前はJR日光線が、今回は野岩鉄道会津鬼怒川線の写真が表紙を飾りました。

車社会全盛の世の中ですが、列車に乗って各地域に出かけ、文化や自然にふれることもグーだと思いますよ。

平成20年7月25日広報委員会

《4月～6月》

総務常任委員会

- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月11日○付託議案審査（日光市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 外5件）
- ▶ 6月19日○所管事務調査

民生環境常任委員会

- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月12日○付託議案審査（日光市父子手当条例の制定について）
- ▶ 6月19日○所管事務調査

観光経済教育常任委員会

- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月11日○付託議案審査（日光市産業エネルギービジョン策定委員会設置条例の制定について 外8件）
- ▶ 6月19日○所管事務調査

建設水道常任委員会

- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月12日○付託議案審査（市道路線の認定について 外1件）
- ▶ 6月12日○所管事務調査（現地調査）
- ▶ 6月19日○所管事務調査

議会運営委員会

- ▶ 5月8日○第2回臨時会について（会期日程等）
- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 5月29日○第3回定例会について（陳情等）
- ▶ 6月2日○第3回定例会について（会期日程等）
- ▶ 6月9日○議会運営について
- ▶ 6月17日○追加日程について
- ▶ 6月18日○議会運営について

議員全員協議会

- ▶ 4月7日○日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定の専決処分について（外8件）
- ▶ 4月21日○議会人事について
- ▶ 5月1日○議会人事について
- ▶ 5月8日○第2回臨時会提出予定議案について（外2件）
- ▶ 6月2日○6月定例会提出予定議案について（外1件）
- ▶ 6月17日○6月定例会追加提出予定議案について（外1件）
- ▶ 6月20日○日光市公共サイン計画について（外2件）

広報委員会

- ▶ 6月2日○正副委員長の互選
- ▶ 6月5日○7月発行議会広報紙について
- ▶ 6月20日○7月発行議会広報紙について

日光市可燃ごみ処理施設調査特別委員会

- ▶ 5月8日○臨時会に係る諸手続について
- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月9日○クリーンセンター建設について（現地調査）
- ▶ 6月18日○調査活動について

地域経済活性化対策調査特別委員会

- ▶ 5月8日○臨時会に係る諸手続について
- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月18日○調査活動について

ダム施設周辺地域対策調査特別委員会

- ▶ 5月8日○臨時会に係る諸手続について
- ▶ 5月14日○正副委員長の互選
- ▶ 6月27日○鬼怒川上流ダムの利活用計画について（外1件）

どんな名目でもダメ！

「贈らない！・求めない！・受け取らない！」

政治家の寄附や、有権者が求めることが禁止されています。

病氣見舞い

お祭りへの寄附
や差し入れ地域のスポーツ大会への
差し入れ

初盆の御供物

葬式の花輪
・供花落成式・開店祝い
の花輪町内会の集いや旅行などの催し物へ
の寸志や差し入れ

お中元やお歳暮

